

2020年10月9日
日本生命保険相互会社

「第5回 大阪サクヤヒメ表彰」の受賞について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）のサービス業務教育部 部長 中野佳代子は、大阪商工会議所が主催する「第5回 大阪サクヤヒメ表彰」において、「大阪サクヤヒメ賞」を受賞しました。

大阪サクヤヒメ表彰とは、今後のさらなる活躍が期待され、後進のロールモデルとなる女性役員・管理職等を表彰対象とするもので、当社としては、2017年の井上純子、2019年の山内千鶴に続き、3人目の受賞者となります。

今回受賞した中野佳代子は、当社の大阪の支社でキャリアをスタートし、保険金等の支払いに関わる部門に長く携わりました。東日本大震災の際には、書類を失われ、連絡も困難な被災地のお客様に寄り添い、約2,600件に上る保険金等の支払いに尽力しました。また、女性として初めて、一般社団法人生命保険協会の保険金部会長を務め、さまざまな業界共通制度を構築し、業界全体の支払いに関わるサービス向上を牽引しました。現在は、大阪本店（淀屋橋）で、お客様サービスの充実を推進する所属を統括し、全国の女性職員のロールモデルとして、管理職を目指す女性の登用・育成にも注力しています。

受賞講評は以下のとおりです。

○阪神淡路大震災や東日本大震災という二度の大震災の中、保険金支払い業務において、手続きの簡素化や、企業の枠を超えて共通する契約照会制度を構築し、困窮するお客様を支えた。通底するのはお客様の視点に立って寄り添う姿勢であり、未曾有の災害に打ち沈むお客様の心の支えとなったことと確信する。経済的支援とは別の形で保険の社会的意義を高めたことを評価したい。

<10月8日の表彰式での様子>



(後列右から3番目：中野佳代子)

以 上